

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報				令和	3	年度	
事業番号	379		事業名	小学校管理運営費			
担当課	学校教育課		担当係	管理係	担当者	下田・小谷・鎌谷	
総合計画に最も関連ある施策	施策	6	こころ豊かな人づくり(教育、文化)		連絡先	84-1231	
	施策体系	1	学校教育の充実		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	
	主な事業	児童、教員が安心して学習に取り組むことができるための学校環境整備と学校運営		<input checked="" type="checkbox"/> 継続			
予算区分	款	9	教育費		事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 八頭町	
	項	2	小学校費			<input type="checkbox"/> その他	
	目	1	小学校管理費		計画期間	開始	-
	事業	379	小学校管理運営費			終了	-

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 町内小学校に通う児童および勤務する教員または地域住民					
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 児童と教員が安心して学習することができるための環境整備・学校運営と児童一人ひとりに応じたきめ細かな学習指導					
事業の内容	事業の規模や業務量などを具体的に記載。 町内小学校の均衡のとれた環境整備と学校運営					
事業の手段	どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 老朽化している学校もあるため、計画的な改修や予防措置を実施 特別支援員や学校司書の配置					
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 児童と教員が安心して学習することができる環境、学校が地域コミュニティとしての働きができるための環境(例:避難所)の確保など					
根拠法令等	4	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし			法令等名→	八頭町立小学校及び中学校管理規則

3 活動指標、成果指標

活動指標		単位	事業の手段を図るものさし			
	A	箇所	老朽化した学校施設の維持管理			
	B	台	故障等したICT機器の維持管理			
	C	件	備品購入による教育環境の充実			
	D	人	特別支援員による教育の充実			
成果指標		単位	事業の成果、到達点を図るものさし			
	A	箇所	老朽化した学校施設の修繕箇所数			
	B	台	故障等したICT機器の修繕台数			
	C	件	備品購入の件数			
	D	人	特別支援員の配置数			

4 コスト

区分	単位	H30年度	R1年度	R2年度		R3年度		R4年度	
		実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
活動指標	A	箇所	12	10	8	8	10	10	10
	B	台	0	3	2	4	5	3	5
	C	件	6	3	3	3	4	15	4
	D	人	14	15	16	16	17	16	17
成果指標	A	箇所	12	10	8	8	10	10	10
	B	台	0	3	2	4	5	3	5
	C	件	6	3	3	3	4	15	4
	D	人	14	15	16	16	17	16	17
トータルコスト	千円	97,175	301,532	392,268	321,236	74,917	65,645	133,592	
担当職員数	人	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	
職員人件費	千円	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	
事業費	千円	93,975	298,332	389,068	318,036	71,717	62,445	130,392	
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円				38,091			
	県支出金(交付金・補助金)	千円							
	地方債(借入金)	千円	27,000	115,300	105,000	235,500			
	事業収入(使用料・参加費等)	千円	89	98	60	57	60	54	60
	一般財源(単町費)	千円	66,886	182,934	284,008	44,388	71,657	62,391	130,332

事務事業計画書兼評価表(B表)

5 実施活動内容・成果(到達点)

令和 3 年度

実施活動内容・成果(到達点)	実施活動内容(具体的に)	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの八頭町を担っていく子どもたちが、豊かな心、確かな学力、健やかな身体を育み、一人一人に応じたきめ細かな教育を実現するため、特別な配慮が必要な子どもたちの学習活動や学校生活で支援を行う特別支援員を4校で15名配置した。また、外国籍のある児童が日本語で困らないよう、日本語指導のための特別支援員を1名配置、学校司書を各校1名配置した。 ・老朽化等による施設及び備品等の修繕(水道配管、消火管漏水、非常バッテリー、除雪機等の修理10箇所)、PC修理3台など行った。 ・子どもたちと教員が安心安全に、快適な教育活動や学校活動が出来るよう、施設の維持管理や必要な学校備品等(大型プリンター、移動式アンプ、デジタル体重計、教員用机など15件)を購入し、学校環境の整備を図った。
	成果(具体的に)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な配慮のいる児童へ個別に声掛けやサポートを行うことにより、授業の理解度が高まったり周りの児童とのトラブル回避に繋がっている。また、この支援員がいることは教員のサポートにも繋がっており、学校内でも重要なポジションである。 ・各校学校司書の配置は、毎日の図書の貸し借りだけではなく、調べ学習授業や教員の授業サポートにも大きく貢献しており、学校図書室は子どもたちにとって大切な居場所であり、学校司書は学校環境づくりに欠かせない存在となっている。 ・施設や備品の修理を行い学校環境の整備だけでなく、非常時にも備えることが出来た。 ・学校運営に必要な備品を購入したことにより、授業や学校活動に大いに活用することができている。

6 事務事業の評価

評価項目	評価点	点数	チェックポイント	判断理由・評価コメント(具体的に記入のこと)
必要性 (町民ニーズ)	20	20	①必要性が高い	・子どもたちが安全、安心に学校施設を使用するため、施設の適切な維持管理及び特別支援員の配置は必要である。
		13	②どちらかと言えば必要性がある	
		7	③必要性が低い	
		0	④必要性がない	
妥当性 (町が行わなければならないか)	20	20	①町が行わないといけない	・町が設置し、義務教育を担う場であるため、町が管理等行わなければならない。
		13	②どちらかと言えば町が実施	
		7	③妥当性が低い	
		0	④妥当性がない	
効率性 (コスト削減の余地は無いか)	13	20	①効率的である	・日々の点検等により修繕費用の圧縮が可能な部分もあると考えられる。
		13	②どちらかと言えば効率的である	
		7	③どちらかと言えば非効率的である	
		0	④非効率的である	
緊急性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	20	20	①緊急性が高い	・適切な学校教育環境の維持のため、必ず実施する必要がある。
		13	②比較的緊急性がある	
		7	③緊急性が低い	
		0	④緊急性がない	
成果 (目的の達成状況)	20	20	①成果が上がっている	・適切に維持管理等を行い、学校教育活動の継続性に支障は生じていない。
		13	②どちらかと言えば上がっている	
		7	③どちらかと言えば上がっていない	
		0	④成果が上がっていない	
合計	93			

7 町の方向性・方針

事業の方向性	問題点及び今後の課題・方向性
1 拡充する	<p>(事業活動に当たり、一番の問題点として捉えていること。重点的に手当てする事柄、改善点、工夫したい箇所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援員のスキルアップ ・老朽化した学校施設もあり、今後修繕等が必要な箇所がますます出てくる可能性がある。 ・PCが1人1台配備となり、今後修繕が必要となる台数が増えることや、買い換え等の時期が必要となる。 <p>(上記問題点を解決していくため、次年度どんな活動を展開していくのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みなどに特別支援員の研修等を行い、スキルアップや仕事上で抱える悩みなどにも対応していきたい。 ・老朽化した施設や学校備品の点検を行い、大きな修繕等にならないようにこまめな修繕や予防的措置等を行っていききたい。(冬場の特に水回りの施設点検は重要)。 ・備品購入で予算の嵩むものは年次的な購入計画で対応していくとともに、特にGIGAスクール構想で導入したタブレットの買い換えのための費用は、様々な機会を捉えて、国への予算措置要望を行っていききたい。
2 改善・効率化し継続	
3 現状維持	
4 見直しの上縮小する	
5 終期設定し終了	
6 廃止	